

# Japan Network Virtualization Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

企業や通信事業者のデジタルトランスフォーメーション実現に必要なネットワークインフラの進化において、ネットワーク仮想化は重要な役割を果たします。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Network Virtualization Strategies (Japanese Version)」では、SDN (Software-Defined Network) や NFV (Network Functions Virtualization) を始めとするネットワーク仮想化/自動化技術とその市場に関する詳細な市場分析、予測、競合状況などを提供します。2020 年は、成長する市場に合わせてより詳細な製品セグメントに基づいた分析と予測を提供していきます。

## Markets and Subjects Analyzed

- SDN (Software-Defined Network)
- NFV (Network Functions Virtualization)
- Network Disaggregation

## Core Research

- 国内ネットワーク仮想化/自動化市場 予測
- 国内 SDN、仮想化インフラストラクチャ市場 シェア
- 国内ネットワーク仮想化市場 ベンダー動向
- 国内ネットワーク仮想化市場 ユーザー調査
- Japan Network Virtualization 2020 Top 10 Predictions

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Network Virtualization Strategies \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

1. SDN および NFV 市場でどのベンダーが優位に立っているのか?
2. ユーザーの SDN や NFV に対する必要性はあるのか?
3. 実際に SDN 技術を導入した企業は、どのような効果を上げているのか?
4. Network Disaggregation は、国内で普及する可能性はあるのか? また、どのようなベンダーに市場機会があるのか?

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

NEC、アライドテレシス、ヴィエムウェア、エリクソン、シスコシステムズ、ジュニパーネットワークス、ノキア、富士通、その他